

『聖書が指し示すこと』 ヨハネの福音書 5章39～47節 2017.8.6(聖日礼拝説教より)

『あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。』 詩篇119篇105節

聖書は特別な本…世界最大のベストセラーで、最も多くの言語に訳され、最も迫害されつつも、人類に最も影響を与えた。約40人の著者が約1600年かけて書くも、一貫したテーマ(神の愛と救い)があった！それは、本当の著者が創り主(神)自身だから！

①イエス・キリストを指し示す聖書(39節)…ユダヤ人は、聖書そのものに知恵・力・命があると誤解したが、イエス様は言われた『この聖書は、わたしについて証言している』！どんなに聖書を学んでも、イエス様を知ることがなければ意味がない。どんなに聖書を読み、御言葉を覚えても、今、生きておられ、今あなたに語られるキリストの言葉(御声)でなければ、単なる御題目！★あなたは聖書を読んで、イエス様と出会っただろうか？デボーションで、日々「御声」を聞いているだろうか？神様が、どんなお方かを知り、今、その方があなたに何を語られ、今、何が必要だと言われているのかを、聖書という「書物」にではなく、「お方」に聞きたい！『聖書は難しい』と言う方があるが、「神様、お語りください！聞いています！」と心を向ける時、必ずわかる！『…人が主に向くなら、そのおおいに取り除かれます(Ⅱコリント3:16)』。

②人の心を照らす聖書…『あなたがたは…わたしのもとに来ようとはしません(40)…あなたがたのうちには神に対する愛がない…(42)』。聖書は、私たち本音をえぐりだす！心にあるものとないものをあぶり出す！私たちの求めているのが「この世のこと」であり、神様に喜ばれることなど一切関心がないことを！『聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益(Ⅱテモテ3:16)』。「教え」…本当の神様(命を与え、愛される方)を教え、②戒め…偽りの教えに警戒させ、③矯正…日々の歩みを正してくれる！④義の訓練…聖書を読む者が、神様に役に立つ者(神の愛を伝え、慰めを与える人)となり、神にも人にも愛される者となるように整えてくれる！

★聖書が指し示すのはイエス様ご自身！その方が、聖書を開くたびに語りかけられる。そして、心(本音)を照らし、罪・汚れを示し、正し、聖めてくださる！誰もが、神にも人にも愛され、役立ち、喜ばれる者へと整えていただける！『わたしは世の光』と言われた方の御声を聴き、確信をもって告白したい！「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」と！